

確かな学力向上推進プラン

令和2年2月19日現在
江戸川区立鹿骨東小学校

学力向上に向けた目標値														
成果指標：都学力調査における到達目標値（教科書の例題レベルと練習問題レベルの問題）を超える割合														
教科	平成30年度 結果		平成31年度 目標値		平成31年度 結果		平成32年度 目標値		平成32年度 結果		平成33年度 目標値		平成33年度 結果	
国語	14問 /20	40.8%		43%	14問 /18	24%		30%	問	%		%	問	%
社会	15問 /22	42.1%		44%	14問 /18	24%		30%	問	%		%	問	%
算数	16問 /31	32.9%		35%	13問 /26	1%		30%	問	%		%	問	%
理科	14問 /20	46.1%		48%	9問 /19	12%		30%	問	%		%	問	%

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 算数少人数授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 算数少人数授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 算数少人数授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイム（週4回） 繰り返し学習の実施 学習コーナーの掲示 小テストの定期的実施 算数少人数授業の実施 	
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 発言ルールの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 発言ルールの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 学習用具の扱い方の指導 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 学習用具の扱い方の指導 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 準備、片付けの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、姿勢の指導 学習用具の整理、整頓 授業のめあて、まとめを書くノート指導の徹底 話し方や聞き方の指導 準備、片付けの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の規則を守っていますか。（肯定的な回答 90%以上）
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿骨東小子どもルールブック」の活用と徹底 「頑張りカード」の活用と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> どれくらいの時間、テレビゲームをしますか。（2時間以上の割合 35%以下）
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 毎日の家庭学習 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 家庭学習環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 日記指導(週1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 自主学習ノートの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題提出率9割 家庭学習週間(年4回) 「鹿骨東小家庭学習の手引き」の活用 自主学習ノートの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業時間以外に平日1日当たりどれくらいの勉強をしますか。（30分未満の割合 15%以下）
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 読み語り(図書ポラ) 問題解決型の授業の実施 インタビュー 学級文庫の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 読み語り(図書ポラ) 問題解決型の授業の実施 ペアトーク 学級文庫の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 読み語り(図書ポラ) 問題解決型の授業の実施 スピーチ 辞書の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 読み語り(図書ポラ) 問題解決型の授業の実施 ポスターセッション 調べる学習 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 問題解決型の授業の実施 学び合う活動、書きまとめる活動などの重視 ポスターセッション 百人一首の指導 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(週3回) 問題解決型の授業の実施 学び合う活動、書きまとめる活動などの重視 ティベートorワールドカフェ 百人一首の指導 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていましたか。（肯定的な回答 60%以上）
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施、事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施・事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施・事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施・事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施・事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業公開 校内研究授業の実施（事前授業の実施・事前研への参加） 使用教材のデータ保管 他校研究会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 各授業の内容が分かりますか。（肯定的な回答 80%以上）

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名・漢字の反復練習や小テストを週1回程度行う。 主語と述語を意識して、伝えたいことを明確に伝える。 インタビュー活動をして、人に尋ねたり応答したりする。 文章の内容や感想を読み取り、人に伝えたり演じたりする。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付かせ、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを週1回程度行う。 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて敬体で話す。 ペアトークなどで、紹介や説明などを行って声に出して確かめたり感想を述べたりする。行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えて話す力を身に付けさせる。 日記や手紙などで思ったことや伝えたいことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを週1回程度行う。 比較や分類の仕方、必要な語句などの書留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書の使い方を理解して使う。 スピーチ活動をして、言葉の抑揚や強弱、魔の取り方を工夫して話す。 学校図書館を利用し、事典や図鑑などから得た情報をまとめて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを週1回程度行う。 文章の全体の構成を意識しながら音読する。 グループでの話し合い活動で、司会などの役割を果たしながら話し合う。 自分の考えを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫できる力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを週1回程度行う。 日常的に学校図書館などを活用し、読書に親しみ読書が自分の考えを広げること気付く。 目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決め、資料を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討し、話すことができる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを週1回程度行う。 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しめるようにする。 ディベートで、それぞれの立場から考えを伝え、話し合う。 事実と感想や意見を区別して、資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように書き表す。
社会			<ul style="list-style-type: none"> 市区町村の名称と位置を理解する。 地域の生産や販売に携わる人々の仕事の様子を調べ、生活との関連を考える。 実際の調査活動や地図帳、年表、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 47都道府県の名称と位置を理解する。 都の水道、電気、ガスを共有する事業について調べ、資料から読み取る。 調査活動や地図帳、年表、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめることができる。 調べたことや考えた事をまとめ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形と気候の概要を理解する。 日本の農業、水産業における食糧生産について調べ、自然条件を生かして営まれている問題解決に必要な情報を資料から読み取ることができるよう指導する。 地図帳や地球儀、統計などの各種基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解する。 多様な資料から、必要な情報を抜き出し、比較・分類・総合して考えさせる。 調べたことを図表などにまとめる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリル、東京ベーシックドリルを活用し、反復練習することで定着を図る。 身の回りのことを観察したり、具体物を操作したりして、解決する力を育成する。 問題解決型の授業を繰り返し、自分の考えを書いて発表したり、友達の意見を聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリル、東京ベーシックドリルを活用し、反復練習することで定着を図る。 数量の関係に着目し、計算の意味や仕方を考えたり、計算のたしかめを行ったりする力を身に付けさせる。 量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて視覚的にわかりやすくする。 日常生活で活用する定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリル、東京ベーシックドリルを活用し、反復練習することで定着を図る。 小数や分数でも数の大きさを比べ、計算できるかどうかを考え、日常生活に生かす。 小グループで自分の考えたことを伝え合い、話し合いの基礎となる思考力・表現力・判断力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリル、東京ベーシックドリルを活用し、反復練習することで定着を図る。 四則に関して成り立つ性質についての理解を深める。 小グループで自分の考えたことを図や式などを用いて伝え合い、話し合いの基礎となる思考力・表現力・判断力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリルを繰り返し行うことで、基礎基本の定着を図る。 数直線を用いて、正確に立式ができるよう指導する。 自分の考えを式や図を用いて筋道を立てて説明する経験を積み、多様な思考・表現・判断ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストをもとに、自身の課題を理解させ、前学年までの既習事項の定着を図る。 図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付ける。 解決方法の比較、検討をしていく経験を積み上げ、思考力・判断力・表現力を伸ばす。
理科			<ul style="list-style-type: none"> 問題、予想、結果、考察、結論の問題解決の過程の中で、「見方・考え方」を働かせて、問題解決をする学習の仕方を身に付けるようにする。 学習の過程において、自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見出す問題解決の力を育成する。 見通しをもって観察や実験を行い、比較しながら検討する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題、予想、結果、考察、結論の流れで、問題解決的な授業を展開し、自分の考えを文章や図で表現できるようにする。 学習の過程において、自然の事物・現象から見出した問題について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想するといった問題解決の力を育成する。 観察や実験の方法を考え、関係付けながら検討する力を身に付ける。 ゲストティーチャーを招き、校外学習を年4回行い、自然現象への関心を高め、自然を大切にできる態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題、予想、結果、考察、結論の流れで、問題解決的な授業を展開し、科学的なものの見方、考え方を育てる。 学習の過程において、自然の事物・現象から見出した問題について、予想や仮説を基に解決の方法を発想するといった問題解決の力を育成する。 事象から問題をつくり、条件制御しながら実験する力を身に付ける。 実験結果を集団で検討し、考察をして結論を導き出す力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題、予想、結果、考察、結論の流れで、問題解決的な授業を展開し、思考力、判断力、表現力を高める。 学習の過程において、自然の事物・現象から見出した問題について追究し、より妥当な考えを作り出すといった問題解決の力を育成する。 得られた情報から、推論や考察をし、生活に活かす力を身に付ける。 実験結果を集団で検討し、論理的に説明する力を身に付ける。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や公園の観察、植物を育てるなど具体的な活動を通して自然に親しむ 言葉、絵、動作、劇化など多様な方法により表現する力を付ける。 見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなど多様な学習活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 動植物に触れ合うこと、町探検などを通して、近隣の施設や様子、地域の人々の思いについて知る。 事前事後の指導で、学校図書館を利用し、図鑑や資料を使って調べ学習を行う。 				
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 範唱を聴いて友達と声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする基礎的な能力を育て、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽表現の楽しさに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌ったり、楽曲の楽しさを感じ取って楽器を演奏したりする基礎的な能力を育て、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽表現や鑑賞の楽しさに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生で培った音楽経験を生かし、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽活動への意欲を高めていけるよう、身体を動かした音楽表現に取り組む。 リコーダーや歌唱で曲の特徴を捉えた演奏を工夫し表現できるようにする。 音名読みをできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を使った音楽表現力を身に付ける。 音楽の特色や良さを感じ取れる鑑賞活動を行う。 歌唱、器楽で曲の特徴を捉えた表現を工夫できるようにする。 それまでの音楽経験を生かし、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、積極的に音楽に関わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞や歌唱、器楽の活動を通して、主体的に表現する能力を高める。 様々な音楽に触れ、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、生活を明るく潤いのあるものにする態度を育てる。 卒業式に向けて、気持ちを込める演奏が自信をもってできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱や器楽、鑑賞の活動を通して、主体的に表現する能力を高める。 様々な音楽に触れ、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、生活を明るく潤いのあるものにする態度を育てる。 卒業式に向けて、小学校での音楽表現活動の集大成となるようにし、達成感を味わわせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 手や体全体の感覚などを働かせて、材料や用具を使い、楽しく自分が表したいことを基に、創造的につくったり表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚や行為、体験を通して形や色のイメージに気付いたり、1年生の既習事項を生かして、自分の想いをもとに創造的に表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの材料から発想したり、新しい道具や技法を経験したりする機会を増やすことを通して、造形表現の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中の造形との関わりや、3年の既習経験を生かして表す機会を増やすことを通して、発想や技能を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な作品との関わりをもとに、新しい技法や用具、材料を経験する機会を増やすことを通して、造形表現の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の作品との関わりや、他教科との関連を通して、既習経験を活かしながら意図をもって取捨選択し、表すことができるようにする。
家庭					<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や家族の生活について関心をもち、基礎的な技術を身に付けるようにする。食の大切さを知り、生活リズムを整えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や家族の生活について基礎的な技術を用いて、自分の生活に生かすことができるようにする。食のバランスを考え家事を分担し、生活リズムを整える。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動感覚を身に付けるために、いろいろな動きに幅広く楽しく取り組む。 よい動きを見付けたり工夫した遊び方を伝えたりして、他者に伝える力を養う。 きまりを守り、友達と仲良く運動する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> どうすればもっと上手くなるのかという視点で振り返りを行い、工夫する態度を身に付ける。 ペア、小グループなどで見合う時間を取り、互いの技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動量を確保し、体力向上を図る。 授業の途中で、発表する場を設け、動きのモデルを示す。 お手本を見たり、アドバイスをしあったりして、正しい運動の動きを身に付ける。 健康の大切さに気付き、健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動量を確保し、体力向上を図る。 運動や健康の課題を解決するために、方法や行い方を工夫し、その考えを他者に伝える力を高める。 ペアやグループ学習を取り入れ、児童同士で学び合うことができるようにする。 ワークシートを効果的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体力・技能の実態を知り、安全に運動に取り組む、体力の向上を目指す。 ゲーム的な活動を通して、仲間と運動することの喜びや運動することの楽しさに気付かせる。 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な道具を使い、運動することの楽しさを理解させる。 ゲーム的な活動を通して、友だちと協力して運動することのよさや、友達のよさや考えを認める大切さに気付かせる。